

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 7 月 30 日 (2020.7.30)

【公表番号】特表 2019-525547 (P2019-525547A)

【公表日】令和 1 年 9 月 5 日 (2019.9.5)

【年通号数】公開・登録公報 2019-036

【出願番号】特願 2018-568197 (P2018-568197)

【国際特許分類】

H 0 4 N 21/433 (2011.01)

H 0 4 N 21/442 (2011.01)

【F I】

H 0 4 N 21/433

H 0 4 N 21/442

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 6 月 22 日 (2020.6.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

メディアアセットに関心があるユーザに対して、追付機構の初期化を制限することによる、リソースの効果的利用のための方法であって、

複数のユーザが、同一ユーザ機器からメディアアセットを消費していることを検出することと、

前記複数のユーザの個別のユーザ毎に、個別のユーザが前記メディアアセットに関心があるかどうかを決定することであって、前記個別のユーザが前記メディアアセットに関心があるかどうかを決定することは、

前記個別のユーザの個別のプロファイルのデータと前記メディアアセットのメタデータを比較することと、

前記個別のプロファイルのデータが前記メディアアセットのメタデータに合致することの決定にตอบสนองして、前記個別のユーザが前記メディアアセットに関心があることを決定することと、

前記個別のプロファイルのデータが前記メディアアセットのメタデータに合致しないことの決定にตอบสนองして、前記個別のユーザが前記メディアアセットに関心がないことを決定することと

によって行われる、ことと、

前記メディアアセットに関心がある各個別のユーザを含む前記複数のユーザの第 1 のサブセットを識別することと、

前記メディアアセットに関心がない各個別のユーザを含む前記複数のユーザの第 2 のサブセットを識別することと、

前記複数のユーザのうちのユーザが前記メディアアセットを無視していることを検出することと、

前記ユーザが前記第 1 のサブセット内で識別されるかまたは前記第 2 のサブセット内で識別されるかを決定することと、

前記ユーザが前記第 1 のサブセット内で識別されることの決定にตอบสนองして、前記ユーザが前記メディアアセットを無視し始めた時間から始まる前記メディアアセットの一部を記

憶することと、

前記ユーザが前記第2のサブセット内にいることの決定に回答して、前記ユーザが前記メディアアセットを無視し始めた時間から始まる前記メディアアセットの一部を記憶することを止めることと

を含む、方法。

【請求項2】

前記ユーザが前記メディアアセットを無視し始めた時間から始まる前記メディアアセットの一部を記憶することは、

複数のアクセス可能ユーザ機器を検出することであって、それぞれ、個別のユーザに対応する、ことと、

前記メディアアセットを無視しているユーザと関連付けられた、前記複数のユーザ機器のうちのユーザ機器を識別することと、

前記メディアアセットの一部を前記識別されたユーザ機器に伝送することと

を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記識別されたユーザ機器が前記メディアアセットと関連付けられたタイプのメディアを再生可能であるかどうかを決定することと、

前記識別されたユーザ機器が前記メディアアセットと関連付けられた前記タイプのメディアを再生不可能であることの決定に回答して、

前記ユーザのプロファイルに基づいて、前記メディアアセットを記録可能な前記ユーザと関連付けられた別のユーザ機器を識別することと、

前記識別された別のユーザ機器上で、記録するための前記メディアアセットをスケジューリングすることと

をさらに含む、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記ユーザが前記第2のサブセット内にいることの決定に回答して、

複数のアクセス可能ユーザ機器を検出することと、

前記メディアアセットを無視している前記ユーザと関連付けられた、前記複数のユーザ機器のうちのユーザ機器を識別することと、

表示のために、前記識別されたユーザ機器上に、記録するための前記メディアアセットをスケジューリングするプロンプトを生成することと

をさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記複数のユーザのうちのユーザが前記メディアアセットを無視していることを検出することは、

前記ユーザの眼が前記メディアアセットの方向に向いていないことを検出することと、

前記ユーザの眼が前記メディアアセットの方向に向いていない期間を追跡するタイマをアクティブ化することと、

前記タイマに基づいて、前記ユーザの眼が前記メディアアセットの方向に向いていない期間が閾値を上回ることを決定することと、

前記タイマに基づいて、前記ユーザの眼が前記メディアアセットの方向に向いていない期間が前記閾値を上回ることの決定に回答して、前記ユーザが前記メディアアセットを無視していることを検出することと

を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記ユーザが前記メディアアセットを無視し始めた時間から始まる前記メディアアセットの一部を記憶することは、

前記ユーザがもはや前記メディアアセットを無視していないことを検出することと、

前記ユーザが閾値期間未満の期間にわたって前記メディアアセットを無視していたかどうかを決定することと、

前記ユーザが前記閾値期間未満の期間にわたって前記メディアアセットを無視していたことの決定に回答して、前記メディアアセットの記憶された部分を削除することとを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記ユーザが前記閾値期間を上回る期間にわたって前記メディアアセットを無視していたことの決定に回答して、前記ユーザに前記メディアアセットの一部を削除するかどうかについてプロンプトすることをさらに含む、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記メディアアセットが視聴覚メディアアセットであることを決定することと、
前記メディアアセットの一部が会話を含有しないことを決定することと、
前記メディアアセットの一部が会話を含有しないことの決定に回答して、表示のために、前記メディアアセットの一部のビデオを増加速度で生成することとをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

メディアアセットに関心があるユーザに対して、追付機構の初期化を制限することによる、リソースの効果的利用のためのシステムであって、前記システムは、請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載の方法を実行するように構成される制御回路を備える、システム。

【請求項 10】

非一過性コンピュータ可読命令を有する非一過性コンピュータ可読媒体であって、前記非一過性コンピュータ可読命令は、メディアアセットに関心があるユーザに対して、追付機構の初期化を制限することによる、リソースの効果的利用を提供するために前記非一過性コンピュータ可読媒体上にエンコードされ、前記非一過性コンピュータ可読命令は、制御回路によって実行されると、請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載の方法を前記制御回路に実施させる、非一過性コンピュータ可読媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

いくつかの実施形態では、ユーザがメディアアセット内の現在の時間までより迅速に「追い付き」得るように、メディアアセットの記憶された部分を増加速度で再生することが有用であり得る。メディアガイドアプリケーションは、メディアアセットが、メディアアセットの一部が会話を含有しない、視聴覚メディアアセットであることを決定してもよい。メディアアセットの一部が会話を含有しないことの決定に回答して、メディアガイドアプリケーションは、表示のために、メディアアセットの一部のビデオを増加速度で生成してもよい。例えば、映画内に会話が存在しない場合、ユーザが内容を聴取する必要がないであろうため、ユーザは、ビデオ部分まで増加速度で「追い付き」得る。

本発明は、例えば、以下を提供する。

(項目 1)

方法であって、

メディアアセットを同時に消費している複数のユーザのうちのユーザがメディアアセットを無視していることを検出することと、

前記ユーザがメディアアセットに関心があるかどうかを決定することと、

前記ユーザがメディアアセットに関心があることの決定に回答して、前記ユーザがメディアアセットを無視し始めた時間から始まるメディアアセットの一部を自動的に記憶することと、

前記ユーザがメディアアセットに関心がないことの決定に回答して、前記ユーザがメディアアセットを無視し始めた時間から始まるメディアアセットの一部を自動的に記憶する

ことを止めることと
を含む、方法。

(項目2)

メディアアセットに関心があるユーザに対して、追付機構の初期化を制限することによ
る、リソースの効果的利用のための方法であって、

複数のユーザが、同一ユーザ機器からメディアアセットを消費していることを検出する
ことと、

前記複数のユーザの個別のユーザ毎に、個別のユーザがメディアアセットに関心がある
かどうかを決定することであって、前記個別のユーザがメディアアセットに関心があるか
どうかを決定することは、

前記個別のユーザの個別のプロファイルのデータとメディアアセットのメタデータを
比較することと、

前記個別のプロファイルのデータが前記メディアアセットのメタデータに合致するこ
との決定に応答して、前記個別のユーザがメディアアセットに関心があることを決定する
ことと、

前記個別のプロファイルのデータが前記メディアアセットのメタデータに合致しない
ことの決定に応答して、前記個別のユーザがメディアアセットに関心がないことを決定す
ることと

によって行われる、ことと、

メディアアセットに関心がある各個別のユーザを含む前記複数のユーザの第1のサブセ
ットを識別することと、

メディアアセットに関心がない各個別のユーザを含む前記複数のユーザの第2のサブセ
ットを識別することと、

前記複数のユーザのうちのユーザがメディアアセットを無視していることを検出するこ
とと、

前記ユーザが前記第1のサブセット内で識別されるかまたは前記第2のサブセット内で
識別されるかを決定することと、

前記ユーザが前記第1のサブセット内で識別されることの決定に応答して、前記ユーザ
がメディアアセットを無視し始めた時間から始まるメディアアセットの一部を記憶するこ
とと、

前記ユーザが前記第2のサブセット内で識別されることの決定に応答して、前記ユーザ
がメディアアセットを無視し始めた時間から始まる前記メディアアセットの一部を記憶す
ることを止めることと

を含む、方法。

(項目3)

前記ユーザがメディアアセットを無視し始めた時間から始まる前記メディアアセットの
一部を記憶することは、

複数のアクセス可能ユーザ機器を検出することであって、それぞれ、個別のユーザに対
応する、ことと、

メディアアセットを無視しているユーザと関連付けられた前記複数のユーザ機器のうち
のユーザ機器を識別することと、

前記メディアアセットの一部を前記識別されたユーザ機器に伝送することと

を含む、項目2に記載の方法。

(項目4)

前記識別されたユーザ機器がメディアアセットと関連付けられたタイプのメディアを再
生可能であるかどうかを決定することと、

前記識別されたユーザ機器がメディアアセットと関連付けられた前記タイプのメディア
を再生不可能であることの決定に応答して、

前記ユーザのプロファイルに基づいて、メディアアセットを記録可能な前記ユーザと
関連付けられた別のユーザ機器を識別することと、

前記識別された別のユーザ機器上で、記録するためのメディアアセットをスケジューリングすることと

をさらに含む、項目 3 に記載の方法。

(項目 5)

前記ユーザが前記第 2 のサブセット内にいることの決定に応答して、

複数のアクセス可能ユーザ機器を検出することと、

メディアアセットを無視している前記ユーザと関連付けられた前記複数のユーザ機器のうちのユーザ機器を識別することと、

表示のために、前記識別されたユーザ機器上に、記録するためのメディアアセットをスケジューリングするプロンプトを生成することと

をさらに含む、項目 2 に記載の方法。

(項目 6)

前記複数のユーザのうちのユーザがメディアアセットを無視していることを検出することとは、

前記ユーザの眼が前記メディアアセットの方向に向いていないことを検出することと、

前記ユーザの眼が前記メディアアセットの方向に向いていない期間を追跡するタイムをアクティブ化することと、

前記タイムに基づいて、前記ユーザの眼が前記メディアアセットの方向に向いていない期間が閾値を上回ることを決定することと、

前記タイムに基づいて、前記ユーザの眼が前記メディアアセットの方向に向いていない期間が前記閾値を上回ることの決定に応答して、前記ユーザがメディアアセットを無視していることを検出すること

を含む、項目 2 に記載の方法。

(項目 7)

前記ユーザがメディアアセットを無視し始めた時間から始まる前記メディアアセットの一部を記憶することは、

前記ユーザがもはやメディアアセットを無視していないことを検出することと、

前記ユーザが閾値期間未満の期間にわたってメディアアセットを無視しているかどうかを決定することと、

前記ユーザが前記閾値期間未満の期間にわたってメディアアセットを無視していることの決定に応答して、前記メディアアセットの記憶された部分を削除することと

を含む、項目 2 に記載の方法。

(項目 8)

前記ユーザが前記閾値期間を上回る期間にわたってメディアアセットを無視していることの決定に応答して、前記ユーザに前記メディアアセットの一部を削除するかどうかについてプロンプトすることをさらに含む、項目 7 に記載の方法。

(項目 9)

表示のために、前記メディアアセットの一部を消費するオプションを生成することをさらに含む、項目 8 に記載の方法。

(項目 10)

前記ユーザに前記メディアアセットの一部を削除するかどうかをプロンプトすることは、前記ユーザと関連付けられたモバイルユーザ機器において前記ユーザにプロンプトすることを含む、項目 8 に記載の方法。

(項目 11)

メディアアセットが視聴覚メディアアセットであることを決定することと、

前記メディアアセットの一部が会話を含有しないことを決定することと、

前記メディアアセットの一部が会話を含有しないことの決定に応答して、表示のために、前記メディアアセットの一部のビデオを増加速度で生成することと

をさらに含む、項目 2 に記載の方法。

(項目 12)

メディアアセットに関心があるユーザに対して、追付機構の初期化を制限することによる、リソースの効果的利用のためのシステムであって、前記システムは、

記憶装置と、

制御回路であって、前記制御回路は、

複数のユーザが、同一ユーザ機器からメディアアセットを消費していることを検出することと、

前記複数のユーザの個別のユーザ毎に、個別のユーザがメディアアセットに関心があるかどうかを決定することであって、前記個別のユーザがメディアアセットに関心があるかどうかを決定することは、

前記個別のユーザの個別のプロファイルのデータとメディアアセットのメタデータを比較することと、

前記個別のプロファイルのデータが前記メディアアセットのメタデータに合致することの決定に応答して、前記個別のユーザがメディアアセットに関心があることを決定することと、

前記個別のプロファイルのデータが前記メディアアセットのメタデータに合致しないことの決定に応答して、前記個別のユーザがメディアアセットに関心がないことを決定することと

によって行われる、ことと、

メディアアセットに関心がある各個別のユーザを含む前記複数のユーザの第1のサブセットを識別することと、

メディアアセットに関心がない各個別のユーザを含む前記複数のユーザの第2のサブセットを識別することと、

前記複数のユーザのうちのユーザがメディアアセットを無視していることを検出することと、

前記ユーザが前記第1のサブセット内で識別されるかまたは前記第2のサブセット内で識別されるかを決定することと、

前記ユーザが前記第1のサブセット内で識別されることの決定に応答して、前記記憶装置内に、前記ユーザがメディアアセットを無視し始めた時間から始まるメディアアセットの一部を記憶することと、

前記ユーザが前記第2のサブセット内にいることの決定に応答して、前記ユーザがメディアアセットを無視し始めた時間から始まる前記メディアアセットの一部を記憶することを止めることと

を行うように構成される、制御回路と

を備える、システム。

(項目13)

前記制御回路はさらに、前記ユーザがメディアアセットを無視し始めた時間から始まる前記メディアアセットの一部を記憶するとき、

複数のアクセス可能ユーザ機器を検出し、それぞれ、個別のユーザに対応することと

メディアアセットを無視しているユーザと関連付けられた前記複数のユーザ機器のうちのユーザ機器を識別することと、

前記メディアアセットの一部を前記識別されたユーザ機器に伝送することと

を行うように構成される、項目12に記載のシステム。

(項目14)

前記制御回路はさらに、

前記識別されたユーザ機器がメディアアセットと関連付けられたタイプのメディアを再生可能であるかどうかを決定することと、

前記識別されたユーザ機器がメディアアセットと関連付けられた前記タイプのメディアを再生不可能であることの決定に応答して、

前記ユーザのプロファイルに基づいて、メディアアセットを記録可能な前記ユーザと

関連付けられた別のユーザ機器を識別することと、

前記識別された別のユーザ機器上に、記録するためのメディアアセットをスケジューリングすることと

を行うように構成される、項目 1 3 に記載のシステム。

(項目 1 5)

前記制御回路はさらに、前記ユーザが前記第 2 のサブセット内にいることの決定に応答して、

複数のアクセス可能ユーザ機器を検出することと、

メディアアセットを無視している前記ユーザと関連付けられた前記複数のユーザ機器のうちのユーザ機器を識別することと、

表示のために、前記識別されたユーザ機器上に、記録するためのメディアアセットをスケジューリングするプロンプトを生成することと

を行うように構成される、項目 1 2 に記載のシステム。

(項目 1 6)

前記制御回路はさらに、前記複数のユーザのうちのユーザがメディアアセットを無視していることを検出すると、

前記ユーザの眼が前記メディアアセットの方向に向いていないことを検出することと

、

前記ユーザの眼が前記メディアアセットの方向に向いていない期間を追跡するタイマをアクティブ化することと、

前記タイマに基づいて、前記ユーザの眼が前記メディアアセットの方向に向いていない期間が閾値を上回ることを決定することと、

前記タイマに基づいて、前記ユーザの眼が前記メディアアセットの方向に向いていない期間が前記閾値を上回るものの決定に応答して、前記ユーザがメディアアセットを無視していることを検出することと

を行うように構成される、項目 1 2 に記載のシステム。

(項目 1 7)

前記制御回路はさらに、前記ユーザがメディアアセットを無視し始めた時間から始まる前記メディアアセットの一部を記憶するとき、

前記ユーザがもはやメディアアセットを無視していないことを検出することと、

前記ユーザが閾値期間未満の期間にわたってメディアアセットを無視しているかどうかを決定することと、

前記ユーザが前記閾値期間未満の期間にわたってメディアアセットを無視しているものの決定に応答して、前記メディアアセットの記憶された部分を削除することと

を行うように構成される、項目 1 2 に記載のシステム。

(項目 1 8)

前記制御回路はさらに、

前記ユーザが前記閾値期間を上回る期間にわたってメディアアセットを無視しているものの決定に応答して、前記ユーザに前記メディアアセットの一部を削除するかどうかに関してプロンプトする

ように構成される、項目 1 7 に記載のシステム。

(項目 1 9)

前記制御回路はさらに、

表示のために、前記メディアアセットの一部を消費するオプションを生成する

ように構成される、項目 1 8 に記載のシステム。

(項目 2 0)

前記制御回路はさらに、

前記ユーザに前記メディアアセットの一部を削除するかどうかをプロンプトするとき、前記ユーザと関連付けられたモバイルユーザ機器において前記ユーザにプロンプトする

ように構成される、項目 1 8 に記載のシステム。

(項目 2 1)

前記制御回路はさらに、
メディアアセットが視聴覚メディアアセットであることを決定することと、
前記メディアアセットの一部が会話を含有しないことを決定することと、
前記メディアアセットの一部が会話を含有しないことの決定に応答して、表示のために
、前記メディアアセットの一部のビデオを増加速度で生成することと
を行うように構成される、項目 1 2 に記載のシステム。

(項目 2 2)

メディアアセットに関心があるユーザに対して、追付機構の初期化を制限することによ
る、リソースの効果的利用のためのシステムであって、前記システムは、
複数のユーザが、同一ユーザ機器からメディアアセットを消費していることを検出する
ための手段と、

前記複数のユーザの個別のユーザ毎に、個別のユーザがメディアアセットに関心がある
かどうかを決定するための手段であって、前記個別のユーザがメディアアセットに関心が
あるかどうかを決定することは、

前記個別のユーザの個別のプロファイルのデータとメディアアセットのメタデータを
比較することと、

前記個別のプロファイルのデータが前記メディアアセットのメタデータに合致するこ
との決定に応答して、前記個別のユーザがメディアアセットに関心があることを決定する
ことと、

前記個別のプロファイルのデータが前記メディアアセットのメタデータに合致しない
ことの決定に応答して、前記個別のユーザがメディアアセットに関心がないことを決定す
ることと

によって行われる、手段と、

メディアアセットに関心がある各個別のユーザを含む前記複数のユーザの第 1 のサブセ
ットを識別するための手段と、

メディアアセットに関心がない各個別のユーザを含む前記複数のユーザの第 2 のサブセ
ットを識別するための手段と、

前記複数のユーザのうちのユーザがメディアアセットを無視していることを検出するた
めの手段と、

前記ユーザが前記第 1 のサブセット内で識別されるかまたは前記第 2 のサブセット内で
識別されるかを決定するための手段と、

前記ユーザが前記第 1 のサブセット内で識別されることの決定に応答して、前記ユーザ
がメディアアセットを無視し始めた時間から始まるメディアアセットの一部を記憶するた
めの手段と、

前記ユーザが前記第 2 のサブセット内で識別されることの決定に応答して、前記ユーザ
がメディアアセットを無視し始めた時間から始まる前記メディアアセットの一部を記憶す
ることを止めるための手段と

を備える、システム。

(項目 2 3)

前記ユーザがメディアアセットを無視し始めた時間から始まる前記メディアアセットの
一部を記憶するための手段は、

複数のアクセス可能ユーザ機器を検出するための手段であって、それぞれ、個別のユー
ザに対応する、手段と、

メディアアセットを無視しているユーザと関連付けられた前記複数のユーザ機器のうち
のユーザ機器を識別するための手段と、

前記メディアアセットの一部を前記識別されたユーザ機器に伝送するための手段と
を備える、項目 2 2 に記載のシステム。

(項目 2 4)

前記識別されたユーザ機器がメディアアセットと関連付けられたタイプのメディアを再

生可能であるかどうかを決定するための手段と、

前記識別されたユーザ機器がメディアアセットと関連付けられた前記タイプのメディアを再生不可能であることの決定に応答して、

前記ユーザのプロファイルに基づいて、メディアアセットを記録可能な前記ユーザと関連付けられた別のユーザ機器を識別するための手段と、

前記識別された別のユーザ機器上で、記録するためのメディアアセットをスケジューリングするための手段と

をさらに備える、項目 2 3 に記載のシステム。

(項目 2 5)

前記ユーザが前記第 2 のサブセット内にいることの決定に応答して、

複数のアクセス可能ユーザ機器を検出するための手段と、

メディアアセットを無視している前記ユーザと関連付けられた前記複数のユーザ機器のうちのユーザ機器を識別するための手段と、

表示のために、前記識別されたユーザ機器上に、記録するためのメディアアセットをスケジューリングするプロンプトを生成するための手段と

をさらに備える、項目 2 2 に記載のシステム。

(項目 2 6)

前記複数のユーザのうちのユーザがメディアアセットを無視していることを検出するための手段は、

前記ユーザの眼が前記メディアアセットの方向に向いていないことを検出するための手段と、

前記ユーザの眼が前記メディアアセットの方向に向いていない期間を追跡するタイマをアクティブ化するための手段と、

前記タイマに基づいて、前記ユーザの眼が前記メディアアセットの方向に向いていない期間が閾値を上回ることを決定するための手段と、

前記タイマに基づいて、前記ユーザの眼が前記メディアアセットの方向に向いていない期間が前記閾値を上回ることの決定に応答して、前記ユーザがメディアアセットを無視していることを検出するための手段と

を備える、項目 2 2 に記載のシステム。

(項目 2 7)

前記ユーザがメディアアセットを無視し始めた時間から始まる前記メディアアセットの一部を記憶するための手段は、

前記ユーザがもはやメディアアセットを無視していないことを検出するための手段と、

前記ユーザが閾値期間未満の期間にわたってメディアアセットを無視しているかどうかを決定するための手段と、

前記ユーザが前記閾値期間未満の期間にわたってメディアアセットを無視していることの決定に応答して、前記メディアアセットの記憶された部分を削除するための手段と

を備える、項目 2 2 に記載のシステム。

(項目 2 8)

前記ユーザが前記閾値期間を上回る期間にわたってメディアアセットを無視していることの決定に応答して、前記ユーザに前記メディアアセットの一部を削除するかどうかについてプロンプトするための手段をさらに備える、項目 2 7 に記載のシステム。

(項目 2 9)

表示のために、前記メディアアセットの一部を消費するオプションを生成するための手段をさらに備える、項目 2 8 に記載のシステム。

(項目 3 0)

前記ユーザに前記メディアアセットの一部を削除するかどうかをプロンプトするための手段は、前記ユーザと関連付けられたモバイルユーザ機器において前記ユーザにプロンプトするための手段を備える、項目 2 8 に記載のシステム。

(項目 3 1)

メディアアセットが視聴覚メディアアセットであることを決定するための手段と、
前記メディアアセットの一部が会話を含有しないことを決定するための手段と、
前記メディアアセットの一部が会話を含有しないことの決定に応答して、表示のために、
前記メディアアセットの一部のビデオを増加速度で生成するための手段と
をさらに備える、項目 2 2 に記載のシステム。

(項目 3 2)

メモリを備える非一過性コンピュータ可読媒体であって、前記メモリは、メディアアセットに関心があるユーザに対して、追付機構の初期化を制限することによる、リソースの効果的利用を提供するための前記メモリ上にエンコードされた命令を有し、前記命令は、
複数のユーザが、同一ユーザ機器からメディアアセットを消費していることを検出するための命令と、

前記複数のユーザの個別のユーザ毎に、個別のユーザがメディアアセットに関心があるかどうかを決定するための命令であって、前記個別のユーザがメディアアセットに関心があるかどうかを決定することは、

前記個別のユーザの個別のプロファイルのデータとメディアアセットのメタデータを比較することと、

前記個別のプロファイルのデータが前記メディアアセットのメタデータに合致することの決定に応答して、前記個別のユーザがメディアアセットに関心があることを決定することと、

前記個別のプロファイルのデータが前記メディアアセットのメタデータに合致しないことの決定に応答して、前記個別のユーザがメディアアセットに関心がないことを決定することと

によって行われる、命令と、

メディアアセットに関心がある各個別のユーザを含む前記複数のユーザの第 1 のサブセットを識別するための命令と、

メディアアセットに関心がない各個別のユーザを含む前記複数のユーザの第 2 のサブセットを識別するための命令と、

前記複数のユーザのうちのユーザがメディアアセットを無視していることを検出するための命令と、

前記ユーザが前記第 1 のサブセット内で識別されるかまたは前記第 2 のサブセット内で識別されるかを決定するための命令と、

前記ユーザが前記第 1 のサブセット内で識別されることの決定に応答して、前記ユーザがメディアアセットを無視し始めた時間から始まるメディアアセットの一部を記憶するための命令と、

前記ユーザが前記第 2 のサブセット内で識別されることの決定に応答して、前記ユーザがメディアアセットを無視し始めた時間から始まる前記メディアアセットの一部を記憶することを止めるための命令と

を備える、非一過性コンピュータ可読媒体。

(項目 3 3)

前記ユーザがメディアアセットを無視し始めた時間から始まる前記メディアアセットの一部を記憶するための命令は、

複数のアクセス可能ユーザ機器を検出するための命令であって、それぞれ、個別のユーザに対応する、命令と、

メディアアセットを無視しているユーザと関連付けられた前記複数のユーザ機器のうちのユーザ機器を識別するための命令と、

前記メディアアセットの一部を前記識別されたユーザ機器に伝送するための命令と

を備える、項目 3 2 に記載の非一過性コンピュータ可読媒体。

(項目 3 4)

前記命令はさらに、

前記識別されたユーザ機器がメディアアセットと関連付けられたタイプのメディアを再

生可能であるかどうかを決定するための命令と、

前記識別されたユーザ機器がメディアアセットと関連付けられた前記タイプのメディアを再生不可能であることの決定に応答して、

前記ユーザのプロファイルに基づいて、メディアアセットを記録可能な前記ユーザと関連付けられた別のユーザ機器を識別することと、

前記識別された別のユーザ機器上で、記録するためのメディアアセットをスケジューリングすることと

を行うための命令と

を備える、項目 3 3 に記載の非一過性コンピュータ可読媒体。

(項目 3 5)

前記命令はさらに、前記ユーザが前記第 2 のサブセット内にいることの決定に応答して、

複数のアクセス可能ユーザ機器を検出することと、

メディアアセットを無視している前記ユーザと関連付けられた前記複数のユーザ機器のうちのユーザ機器を識別することと、

表示のために、前記識別されたユーザ機器上に記録するためのメディアアセットをスケジューリングするプロンプトを生成することと

を行うための命令を備える、項目 3 2 に記載の非一過性コンピュータ可読媒体。

(項目 3 6)

前記複数のユーザのうちのユーザがメディアアセットを無視していることを検出するための命令は、

前記ユーザの眼が前記メディアアセットの方向に向いていないことを検出するための命令と、

前記ユーザの眼が前記メディアアセットの方向に向いていない期間を追跡するタイマをアクティブ化するための命令と、

前記タイマに基づいて、前記ユーザの眼が前記メディアアセットの方向に向いていない期間が閾値を上回ることを決定するための命令と、

前記タイマに基づいて、前記ユーザの眼が前記メディアアセットの方向に向いていない期間が前記閾値を上回ることの決定に応答して、前記ユーザがメディアアセットを無視していることを検出するための命令と

を備える、項目 3 2 に記載の非一過性コンピュータ可読媒体。

(項目 3 7)

前記ユーザがメディアアセットを無視し始めた時間から始まる前記メディアアセットの一部を記憶するための命令は、

前記ユーザがもはやメディアアセットを無視していないことを検出するための命令と、

前記ユーザが閾値期間未満の期間にわたってメディアアセットを無視しているかどうかを決定するための命令と、

前記ユーザが前記閾値期間未満の期間にわたってメディアアセットを無視していることの決定に応答して、前記メディアアセットの記憶された部分を削除するための命令と

を備える、項目 3 2 に記載の非一過性コンピュータ可読媒体。

(項目 3 8)

前記命令はさらに、

前記ユーザが前記閾値期間を上回る期間にわたってメディアアセットを無視していることの決定に応答して、前記ユーザに前記メディアアセットの一部を削除するかどうかについてプロンプトするための命令

を備える、項目 3 7 に記載の非一過性コンピュータ可読媒体。

(項目 3 9)

前記命令はさらに、

表示のために、前記メディアアセットの一部を消費するオプションを生成するための命令

を備える、項目 3 8 に記載の非一過性コンピュータ可読媒体。

(項目 4 0)

前記ユーザに前記メディアアセットの一部を削除するかどうかをプロンプトするための命令は、

前記ユーザと関連付けられたモバイルユーザ機器において前記ユーザにプロンプトするための命令

を備える、項目 3 8 に記載の非一過性コンピュータ可読媒体。

(項目 4 1)

前記命令はさらに、

メディアアセットが視聴覚メディアアセットであることを決定するための命令と、

前記メディアアセットの一部が会話を含有しないことを決定するための命令と、

前記メディアアセットの一部が会話を含有しないことの決定に応答して、表示のために、前記メディアアセットの一部のビデオを増加速度で生成するための命令と

を備える、項目 3 2 に記載の非一過性コンピュータ可読媒体。

(項目 4 2)

メディアアセットに関心があるユーザに対して、追付機構の初期化を制限することによる、リソースの効果的利用のための方法であって、前記方法は、

複数のユーザが、同一ユーザ機器からメディアアセットを消費していることを検出することと、

前記複数のユーザの個別のユーザ毎に、個別のユーザがメディアアセットに関心があるかどうかを決定することと、

メディアアセットに関心がある各個別のユーザを含む前記複数のユーザの第 1 のサブセットを識別することと、

メディアアセットに関心がない各個別のユーザを含む前記複数のユーザの第 2 のサブセットを識別することと、

前記複数のユーザのうちのユーザがメディアアセットを無視していることを検出することと、

前記ユーザが前記第 1 のサブセット内で識別されるかまたは前記第 2 のサブセット内で識別されるかを決定することと、

前記ユーザが前記第 1 のサブセット内で識別されることの決定に応答して、前記ユーザがメディアアセットを無視し始めた時間から始まるメディアアセットの一部を記憶することと、

前記ユーザが前記第 2 のサブセット内で識別されることの決定に応答して、前記ユーザがメディアアセットを無視し始めた時間から始まる前記メディアアセットの一部を記憶することを止めることと

を含む、方法。

(項目 4 3)

前記ユーザがメディアアセットを無視し始めた時間から始まる前記メディアアセットの一部を記憶することは、

複数のアクセス可能ユーザ機器を検出することであって、それぞれ、個別のユーザに対応する、ことと、

メディアアセットを無視しているユーザと関連付けられた前記複数のユーザ機器のうちのユーザ機器を識別することと、

前記メディアアセットの一部を前記識別されたユーザ機器に伝送することと

を含む、項目 4 2 に記載の方法。

(項目 4 4)

前記識別されたユーザ機器がメディアアセットと関連付けられたタイプのメディアを再生可能であるかどうかを決定することと、

前記識別されたユーザ機器がメディアアセットと関連付けられた前記タイプのメディアを再生不可能であることの決定に応答して、

前記ユーザのプロファイルに基づいて、メディアアセットを記録可能な前記ユーザと関連付けられた別のユーザ機器を識別することと、

前記識別された別のユーザ機器上で、記録するためのメディアアセットをスケジューリングすることと

をさらに含む、項目 4 3 に記載の方法。

(項目 4 5)

前記ユーザが前記第 2 のサブセット内にいることの決定にตอบสนองして、

複数のアクセス可能ユーザ機器を検出することと、

メディアアセットを無視している前記ユーザと関連付けられた前記複数のユーザ機器のうちのユーザ機器を識別することと、

表示のために、前記識別されたユーザ機器上に、記録するためのメディアアセットをスケジューリングするプロンプトを生成することと

をさらに含む、項目 4 2 - 4 4 のいずれか 1 項に記載の方法。

(項目 4 6)

前記複数のユーザのうちのユーザがメディアアセットを無視していることを検出することは、

前記ユーザの眼が前記メディアアセットの方向に向いていないことを検出することと、

前記ユーザの眼が前記メディアアセットの方向に向いていない期間を追跡するタイマをアクティブ化することと、

前記タイマに基づいて、前記ユーザの眼が前記メディアアセットの方向に向いていない期間が閾値を上回ることを決定することと、

前記タイマに基づいて、前記ユーザの眼が前記メディアアセットの方向に向いていない期間が前記閾値を上回ることの決定にตอบสนองして、前記ユーザがメディアアセットを無視していることを検出することと

を含む、項目 4 2 - 4 5 のいずれか 1 項に記載の方法。

(項目 4 7)

前記ユーザがメディアアセットを無視し始めた時間から始まる前記メディアアセットの一部を記憶することは、

前記ユーザがもはやメディアアセットを無視していないことを検出することと、

前記ユーザが閾値期間未満の期間にわたってメディアアセットを無視しているかどうかを決定することと、

前記ユーザが前記閾値期間未満の期間にわたってメディアアセットを無視していることの決定にตอบสนองして、前記メディアアセットの記憶された部分を削除することと

を含む、項目 4 2 - 4 6 のいずれか 1 項に記載の方法。

(項目 4 8)

前記ユーザが前記閾値期間を上回る期間にわたってメディアアセットを無視していることの決定にตอบสนองして、前記ユーザに前記メディアアセットの一部を削除するかどうかについてプロンプトすることをさらに含む、項目 4 7 に記載の方法。

(項目 4 9)

前記複数のユーザの個別のユーザ毎に、個別のユーザがメディアアセットに関心があるかどうかを決定することは、

前記個別のユーザの個別のプロファイルのデータとメディアアセットのメタデータを比較することと、

前記個別のプロファイルのデータが前記メディアアセットのメタデータに合致することの決定にตอบสนองして、前記個別のユーザがメディアアセットに関心があることを決定することと、

前記個別のプロファイルのデータが前記メディアアセットのメタデータに合致しないことの決定にตอบสนองして、前記個別のユーザがメディアアセットに関心がないことを決定することと

を含む、項目 4 8 に記載の方法。

(項目 5 0)

前記ユーザに前記メディアアセットの一部を削除するかどうかをプロンプトすることは、前記ユーザと関連付けられたモバイルユーザ機器において前記ユーザにプロンプトすることを含む、項目 4 8 または 4 9 に記載の方法。

(項目 5 1)

メディアアセットが視聴覚メディアアセットであることを決定することと、
前記メディアアセットの一部が会話を含有しないことを決定することと、
前記メディアアセットの一部が会話を含有しないことの決定に応答して、表示のために、前記メディアアセットの一部のビデオを増加速度で生成することと
をさらに含む、項目 4 2 - 5 0 のいずれか 1 項に記載の方法。